

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 4 部門第 1 区分
 【発行日】平成 16 年 7 月 15 日 (2004.7.15)

【公開番号】特開 2002-88827 (P2002-88827A)
 【公開日】平成 14 年 3 月 27 日 (2002.3.27)
 【出願番号】特願 2000-283992 (P2000-283992)
 【国際特許分類第 7 版】

E 0 3 B 9/10

G 0 1 F 1/00

G 0 1 F 15/14

【F I】

E 0 3 B 9/10 F

G 0 1 F 1/00 G

G 0 1 F 15/14

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 6 月 25 日 (2003.6.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

メータと止水栓と逆止弁とが、ベースの長手方向に沿って該ベースに取り付けられ、前記ベースの長手方向の両端部に前記長手方向に延びる取付け部が設けられているメータユニット用の保温カバーにおいて、内部に前記メータユニットを収受可能なスペースを備えたカバー本体と、前記メータの表示部を覆い、開閉可能なメータ部蓋と、前記止水栓の操作ハンドルを覆い、開閉可能な止水栓部蓋とを含んでなり、前記カバー本体には、前記ベースの前記取付け部が該カバー本体の内部から外部へ挿通される取付け部挿通孔と、前記止水栓と前記逆止弁にそれぞれ接続される配管の端部が挿通可能な配管挿通孔とを備えたことを特徴とする、メータユニット用の保温カバー。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のメータユニット用の保温カバーにおいて、前記カバー本体は、前記ベースの長手方向に沿って左右に分割された 2 つの半部分により構成されていることを特徴とする、メータユニット用の保温カバー。

【請求項 3】

請求項 2 に記載のメータユニット用の保温カバーにおいて、前記取付け部挿通孔は、前記 2 つの半部分にそれぞれ部分的に形成され、前記 2 つの半部分が組み合わされることにより前記取付け部挿通孔が画成されることを特徴とする、メータユニット用の保温カバー。

【請求項 4】

請求項 2 又は 3 に記載のメータユニット用の保温カバーにおいて、前記配管挿通孔少なくとも一方は、前記 2 つの半部分にそれぞれ部分的に形成され、前記 2 つの半部分が組み合わされることにより前記少なくとも一方の配管挿通孔が画成されることを特徴とする、メータユニット用の保温カバー。

【請求項 5】

請求項 1 から 4 のいずれか 1 に記載のメータユニット用の保温カバーにおいて、前記カバー本体には、前記メータユニットと前記カバー本体との相対位置を位置決めする位置決め部材が設けられていることを特徴とする、メータユニット用の保温カバー。

【請求項 6】

請求項 5 に記載のメータユニット用の保温カバーにおいて、前記メータユニットの前記ベースは、底面と、前記底面から所定の高さに設けられた前記止水栓と逆止弁とがそれぞれその上に載置される止水栓載置部と逆止弁載置部と、前記メータがその上方に位置することとなる、前記止水栓載置部と逆止弁載置部との間に前記ベースの長手方向所定の範囲で形成された凹部とを備え、前記カバー本体は前記ベースの長手方向に伸びる側壁部を備え、前記位置決め部材は、前記側壁部の内側面から内方へ広がる、前記ベースの長手方向及びそれに直交する方向でそれぞれ所定の長さに形成された張出し部により構成され、前記張出し部が前記凹所に入ることにより前記メータユニットと前記カバー本体とは相互に位置決めされることを特徴とする、メータユニット用の保温カバー。

【請求項 7】

請求項 6 に記載のメータユニット用の保温カバーにおいて、前記カバー本体はそれぞれ前記ベースの長手方向に沿って左右に分割され、それぞれ前記ベースの長手方向に伸びる左右側壁部を備えた 2 つの半部分により構成され、前記張出し部は、前記左右の側壁部の内側面から互いに向かって内方へ延びている左右の張出し部により構成されることを特徴とする、メータユニット用の保温カバー。

【請求項 8】

請求項 2 に記載のメータユニット用の保温カバーにおいて、さらに前記二つの半部分を一体化した状態に維持する面状ファスナーを備えていることを特徴とする、メータユニット用の保温カバー。

【請求項 9】

請求項 1 から 8 のいずれか 1 に記載のメータユニット用の保温カバーにおいて、前記保温カバーは発泡ポリエチレンで作られていることを特徴とする、メータユニット用の保温カバー。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、本願発明はメータと止水栓と逆止弁とが、ベースの長手方向に沿って該ベースに取り付けられ、そのベースの長手方向の両端部に長手方向に延びる取付け部が設けられているメータユニット用の保温カバーを提供し、その保温カバーは、内部にメータユニットを収受可能なスペースを備えたカバー本体と、メータの表示部を覆い、開閉可能なメータ部蓋と、止水栓の操作ハンドルを覆い、開閉可能な止水栓部蓋とを含んでなる。そして、そのカバー本体には、ベースの取付け部が該カバー本体の内部から外部へ挿通される取付け部挿通孔と、止水栓と逆止弁にそれぞれ接続される配管の端部が挿通可能な配管挿通孔とが設けられている。